

ガイドライン対照表

GRIガイドライン (第4版) 対照表

GRI-G4/一般標準開示項目		対象コンテンツ
戦略および分析		
G4-1	a. 組織の持続可能性の関連性と組織の持続性に取り組むための戦略に関して、組織の最高意思決定者（CEO、会長またはそれに相当する上級幹部）の声明を記載する。	<ul style="list-style-type: none"> > トップメッセージ > 海・山・大地のために 2017 P3
G4-2	a. 主要な影響、リスクと機会について説明する。	<ul style="list-style-type: none"> > 農林中央金庫のCSRの考え方 > [顧客からの信頼]金融インフラの信頼性 > 海・山・大地のために 2017 P3-4 > ディスクロージャー誌 P3, P5-9, P38-49
組織のプロフィール		
G4-3	a. 組織の名称を報告する。	<ul style="list-style-type: none"> > 海・山・大地のために 2017 P1 > ディスクロージャー誌 P1
G4-4	a. 主要なブランド、製品およびサービスを報告する。	<ul style="list-style-type: none"> > 海・山・大地のために 2017 P5 > ディスクロージャー誌 P10-19, P65-68
G4-5	a. 組織の本社の所在地を報告する。	<ul style="list-style-type: none"> > 店舗のご案内
G4-6	a. 組織が事業展開している国の数、および組織が重要な事業所を有している国、報告書中に掲載している持続可能性のテーマに特に関連のある国の名称を報告する。	<ul style="list-style-type: none"> > 組織図
G4-7	a. 組織の所有形態や法人格の形態を報告する。	<ul style="list-style-type: none"> > 組織概要 > 海・山・大地のために 2017 P44 > ディスクロージャー誌 P1
G4-8	a. 参入市場（地理的内訳、参入セクター、顧客および受益者の種類を含む）を報告する。	<ul style="list-style-type: none"> > ステークホルダー・エンゲージメント > ディスクロージャー誌 P65-70

ガイドライン対照表

G4-9	<p>a. 組織の規模（次の項目を含む）を報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総従業員数 ・総事業所数 ・純売上高（民間組織について）、純収入（公的組織について） ・株主資本および負債の内訳を示した総資本（民間組織について） ・提供する製品、サービスの量" 	<ul style="list-style-type: none"> > 海・山・大地のために 2017 P44 > ディスクロージャー誌 P1, P6
G4-15	<p>a. 外部で作成された経済、環境、社会憲章、原則あるいはその他のイニシアティブで、組織が署名または支持したものを一覧表示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> > イニシアチブへの参加
特定されたマテリアルな側面とバウンダリー		
G4-17	<p>a. 組織の連結財務諸表または同等文書の対象になっているすべての事業体を一覧表示する。</p> <p>b. 組織の連結財務諸表または同等文書の対象になっている事業体のいずれかが報告書の掲載から外れていることはないか報告する。組織は、この標準開示項目に関する報告を、一般に入手できる連結財務諸表または同等文書に掲載している情報を引用して行うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> > ディスクロージャー誌 P77, P183
G4-18	<p>a. 報告書の内容および側面のバウンダリーを確定するためのプロセスを説明する。</p> <p>b. 組織が「報告内容に関する原則」をどのように適用したかを説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> > マテリアリティ特定プロセス
G4-19	<p>a. 報告書の内容を確定するためのプロセスで特定したすべてのマテリアルな側面を一覧表示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> > マテリアリティ特定プロセス
ステークホルダー・エンゲージメント		
G4-24	<p>a. 組織がエンゲージメントしたステークホルダー・グループの一覧を提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> > ステークホルダー・エンゲージメント > 海・山・大地のために 2017 P1
G4-26	<p>a. ステークホルダー・エンゲージメントへの組織のアプローチ方法（種類別、ステークホルダー・グループ別のエンゲージメント頻度など）を報告する、またエンゲージメントを特に報告書作成プロセスの一環として行ったものか否かを示す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> > マテリアリティ特定プロセス
G4-27	<p>a. ステークホルダー・エンゲージメントにより提起された主なテーマや懸念、およびそれに対して組織がどう対応したか（報告を行って対応したものを含む）を報告する。また主なテーマや懸念を提起したステークホルダー・グループを報告する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> > マテリアリティ特定プロセス

ガイドライン対照表

報告書のプロフィール		
G4-28	a. 提供情報の報告期間（会計年度、暦年など）。	> 海・山・大地のために 2017 P2 > ディスクロージャー誌 P1
G4-29	a. 最新の発行済報告書の日付（該当する場合）。	> 海・山・大地のために 2017 P2
G4-30	a. 報告サイクル（年次、隔年など）。	> 海・山・大地のために 2017 P2
G4-31	a. 報告書またはその内容に関する質問の窓口を提示する。	> 海・山・大地のために 2017 P2
ガバナンス		
G4-34	a. 組織のガバナンス構造（最高ガバナンス組織の委員会を含む）を報告する。経済、環境、社会影響に関する意思決定の責任を負う委員会があれば特定する。	> 農林中央金庫のCSR > ガバナンス > ディスクロージャー誌 P51
G4-35	a. 最高ガバナンス組織から役員や他の従業員へ、経済、環境、社会テーマに関して権限委譲を行うプロセスを報告する。	> 農林中央金庫のCSR > ガバナンス > ディスクロージャー誌 P51
G4-36	a. 組織が、役員レベルの地位にある者を経済、環境、社会テーマの責任者として任命しているか、その地位にある者が最高ガバナンス組織の直属となっているか否かを報告する。	> 農林中央金庫のCSR > ガバナンス > ディスクロージャー誌 P51
G4-37	a. ステークホルダーと最高ガバナンス組織の間で、経済、環境、社会テーマについて協議するプロセスを報告する。協議が権限移譲されている場合は、誰に委任されているか、最高ガバナンス組織へのフィードバック・プロセスがある場合は、そのプロセスについて記述する。	> ガバナンス
G4-38	a. 最高ガバナンス組織およびその委員会の構成を、次の項目別に報告する。 ・執行権の有無 ・独立性 ・ガバナンス組織における任期 ・構成員の他の重要な役職、コミットメントの数、およびコミットメントの性質 ・ジェンダー ・発言権の低いグループのメンバー ・経済、環境、社会影響に関する能力 ・ステークホルダーの代表	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P51

ガイドライン対照表

G4-39	a. 最高ガバナンス組織の議長が執行役員を兼ねているか否かを報告する（兼ねている場合は、組織の経営における役割と、そのような人事の理由も報告する）。	> ガバナンス > 役員一覧
G4-40	a. 最高ガバナンス組織とその委員会のための指名・選出プロセスを報告する。また最高ガバナンス組織のメンバーの指名や選出で用いられる基準を、次の事項を含めて報告する。 ・多様性が考慮されているか、どのように考慮されているか ・独立性が考慮されているか、どのように考慮されているか ・経済、環境、社会テーマに関する専門知識や経験が考慮されているか、どのように考慮されているか ・ステークホルダー（株主を含む）が関与しているか、どのように関与しているか	> ガバナンス
G4-42	a. 経済、環境、社会影響に関わる組織の目的、価値、ミッション・ステートメント、戦略、方針、および目標、策定、承認、更新における最高ガバナンス組織と役員の役割を報告する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P51
G4-43	a. 経済、環境、社会テーマに関する最高ガバナンス組織の集会的知見を発展・強化するために講じた対策を報告する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P51
G4-44	a. 最高ガバナンス組織の経済、環境、社会テーマのガバナンスに関わるパフォーマンスを評価するためのプロセスを報告する。当該評価の独立性が確保されているか否か、および評価の頻度を報告する。また当該評価が自己評価であるか否かを報告する。 b. 最高ガバナンス組織の経済、環境、社会テーマのガバナンスに関わるパフォーマンスの評価に対応して講じた措置を報告する。この報告では少なくとも、メンバーの変更や組織の実務慣行の変化を記載する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P51
G4-45	a. 経済、環境、社会影響、リスクと機会の特定、マネジメントにおける最高ガバナンス組織の役割を報告する。この報告には、デュー・デリジェンス・プロセスの実施における最高ガバナンス組織の役割を含める。 b. ステークホルダーとの協議が、最高ガバナンス組織による経済、環境、社会影響、リスクと機会の特定、マネジメントをサポートするために活用されているか否かを報告する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P40, P51
G4-46	a. 組織の経済、環境、社会的テーマに関わるリスク・マネジメント・プロセスの有効性をレビューする際に最高ガバナンス組織が負う役割を報告する。	> ディスクロージャー誌 P48
G4-47	a. 最高ガバナンス組織が実施する経済、環境、社会影響、リスクと機会のレビューを行う頻度を報告する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P48, P51

ガイドライン対照表

G4-48	a. 組織のサステナビリティ報告書の正式なレビューや承認を行い、すべてのマテリアルな側面が取り上げられていることを確認するための最高位の委員会または役職を報告する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P51
G4-49	a. 最高ガバナンス組織に対して重大な懸念事項を通知するためのプロセスを報告する。	> ディスクロージャー誌 P40-41, P51
G4-51	a. 最高ガバナンス組織および役員に対する報酬方針を、次の種類の報酬について報告する。 ・固定報酬と変動報酬 - パフォーマンス連動報酬 - 株式連動報酬 - 賞与 - 後配株式または権利確定株式 ・契約金、採用時インセンティブの支払い ・契約終了手当 ・クローバック ・退職給付（最高ガバナンス組織、役員、その他の全従業員について、それぞれの給付制度と拠出金率の違いから生じる差額を含む） b. 報酬方針のパフォーマンス基準が最高ガバナンス組織および役員の経済、環境、社会目的にどのように関係しているかを報告する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P172-173
G4-52	a. 報酬の決定プロセスを報告する。報酬コンサルタントが報酬の決定に関与しているか否か、また報酬コンサルタントが経営陣から独立しているか否かを報告する。報酬コンサルタントと組織の間にこの他の関係がある場合には、報告する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P172-173
G4-53	a. 報酬に関するステークホルダーの意見をどのように求め考慮しているかを報告する。該当する場合は、報酬方針や提案に関する投票結果も記述する。	> ガバナンス > ディスクロージャー誌 P172-173
倫理と誠実性		
G4-56	a. 組織の価値、理念および行動基準・規範（行動規範、倫理規定など）を記述する。	> [組織の基盤]企業倫理 > 倫理憲章 > ディスクロージャー誌 P57
G4-57	a. 倫理的、法的行為や誠実性に関する事項について助言を与えるため組織内外に設けてある制度（電話相談窓口）を報告する。	> [組織の基盤]企業倫理 > ディスクロージャー誌 P58
G4-58	a. 非倫理的あるいは違法な行為についての懸念や、組織の誠実性に関する事項の通報のために組織内外に設けてある制度（ライン管理職による上申制度、内部告発制度、ホットラインなど）を報告する。	> [組織の基盤]企業倫理 > ディスクロージャー誌 P58

ガイドライン対照表

GRI-G4/特定標準開示項目		対象コンテンツ
G4-DMA	a. そのアスペクトが重要（マテリアル）である理由を報告する。このアスペクトを重要（マテリアル）であるとしている影響を報告する b. 組織が重要（マテリアル）であるアスペクトあるいはそれによる影響をどのようにマネジメントするかを報告する c. 以下の項目を含め、マネジメント・アプローチの評価を報告する ・マネジメント・アプローチの有効性を評価するためのしくみ ・マネジメント・アプローチの評価結果 ・マネジメント・アプローチに関連する調整	> マテリアリティ特定プロセス
カテゴリ：経済		
側面：経済的パフォーマンス		
G4-EC1	創出、分配した直接的経済価値	> ディスクロージャー誌 P72～
G4-EC3	確定給付型年金制度の組織負担の範囲	> ディスクロージャー誌 P80
カテゴリ：環境		
側面：エネルギー		
G4-EN3	組織内のエネルギー消費量	> [環境・社会への貢献]環境への配慮
G4-EN6	エネルギー消費量の削減	> [環境・社会への貢献]環境への配慮
側面：製品およびサービス		
G4-EN27	製品およびサービスによる環境影響緩和の程度	> [責任ある金融] 環境保全事業の推進
カテゴリ：社会		
サブカテゴリ：労働慣行とディーセント・ワーク		
側面：雇用		
G4-LA3	出産・育児休暇後の復職率と定着率（男女別）	> [従業員の尊重]従業員の多様性
側面：研修および教育		
G4-LA9	従業員一人あたりの年間平均研修時間（男女別、従業員区分別）	> [従業員の尊重]人財育成 > ディスクロージャー誌 P62-63
G4-LA10	スキル・マネジメントや生涯学習のプログラムによる従業員の継続雇用と雇用終了計画の支援	> [従業員の尊重]人財育成 > ディスクロージャー誌 P62-63

ガイドライン対照表

G4-LA11	業績とキャリア開発についての定期的評価を受けている従業員の比率 (男女別、従業員区分別)	> [従業員の尊重]人財育成 > ディスクロージャー誌 P62-63
サブカテゴリー：人権		
側面：投資		
G4-HR2	業務関連の人権側面についての方針、手順を内容とする従業員研修を行った総時間（研修を受けた従業員の比率を含む）	> [組織の基盤]人権尊重
側面：児童労働		
G4-HR5	児童労働事例に関して著しいリスクがあると特定された業務やサプライヤー、および児童労働の効果的な根絶のために実施した対策	> [組織の基盤]人権尊重
側面：強制労働		
G4-HR6	強制労働事例に関して著しいリスクがあると特定された業務やサプライヤー、およびあらゆる形態の強制労働を撲滅するための対策	> [組織の基盤]人権尊重
側面：人権に関する苦情処理制度		
G4-HR12	人権影響に関する苦情で、正式な苦情処理制度により申立、対応、解決を図ったものの件数	> [組織の基盤]人権尊重
サブカテゴリー：社会		
側面：地域コミュニティ		
G4-SO1	事業のうち、地域コミュニティとのエンゲージメント、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率	> 海・山・大地のために 2017 P7-18 > 海・山・大地のために 2017 P19-24 > 海・山・大地のために 2017 P25-32 > 海・山・大地のために 2017 P33-34
側面：腐敗防止		
G4-SO3	腐敗に関するリスク評価を行っている事業の総数と比率、特定した著しいリスク	> [環境・社会への貢献]健全な社会づくりへの貢献
G4-SO4	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	> ディスクロージャー誌 P33, P57-59
側面：社会への影響に関する苦情処理制度		
G4-SO11	社会に及ぼす影響に関する苦情で、正式な苦情処理制度に申立、対応、解決を図ったものの件数	> [顧客からの信頼]お客さまの尊重 > ディスクロージャー誌 P60 > ご相談・お問い合わせ

ガイドライン対照表

サブカテゴリー：製品責任		
G4-PR5	顧客満足度調査の結果	> [顧客からの信頼] お客さまの尊重
側面：顧客プライバシー		
G4-PR8	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して実証された不服申立の総件数	> [顧客からの信頼] お客さまの尊重 > ディスクロージャー誌 P60